

温もり、自分で編む

私が企画する講座 ルームソックスづくり



区民からの要望を受けて開く「私が企画する講座・ルームソックス作り」が、11月25・28日にありました。矢作篤子さんと三澤泰子さんを講師に、50代以上の女性を中心に約15名が参加しました。

初日、編み方を書いた手順書が配られ作業開始。

講師の三澤さんから「これは、人と競うものではありません。あくまで自分のペースで楽しんで。あまり根を詰めないでやってください」と話がありました。

一辺24センチの四角形を2枚編み、三角形に折りたたんで足が入る4cmを残して縫い合わせ、裏返してソックスの完成。これを2日間で仕上げていきます。

普段は編み物をしないという60代の矢作雅子さんは、今回は少し前から自分と友人のためにルームソックスを編み始めたそうです。クリスマスプレゼントにしますかとの問いに「できればいいけれど間に合うかどうか」と思案顔。「みんなで編み物をするのは、本当に楽しい」と話していました。

2回目の28日は、みなさん家で編み上げてきての受講。余裕をもって先生の指導を受けながら最後の仕上げをしました。

小林栄子さん(84)は「80歳の手習いは楽しいです」と言い、自



分と孫用を編みました。鎌田光子さん(75)も自分用のソックスを編んだそうです。

両日とも作業で疲れたころ合いに、事務局からお茶と菓子が配られ、みなさん話が弾みご機嫌でした。

記事・写真は「伝わる紙面作り講座」の横谷美子さん・松井寛見さん・古閑節子さん・椎野眞吾さん・江上二三雄さん・伊藤ゆり子さんが担当しました。